

第6回 まちづくりミーティング

日時：令和元年12月23日（月）11：00～12：00

場所：ハピネスふくちやま 女性支援ルーム

団体：京都府女性の船「ステップあげぼの」福知山支部

主な話し合いの内容

団体：高齢者の免許証返納が進む中、俺我地区では市街地に行くバスが貴重な移動手段である。増便や値下げも含め、市街地周辺部へバスルートの拡充ができないか？

市長：民間バス会社、市バス、自主運行バスが運行しており、民間バス会社の営業妨害になるよう路線の重複はできない。また、平成30年度の市内路線は赤字で、行政が1億8,600万円を負担している状況である。

川北地区ではデマンド型乗合タクシーとして昼間増便の実証実験をしたが乗車人数は増えなかった。今年は市も補助金を出して下豊富でデマンド型乗合タクシー事業を始めており、一定の成果があれば継続される。三和町では地域協議会が公共交通空白地有償運送を実施しているほか、地域の協力も得てスクールバスの一般混乗を実施している。こうした地域の協力をいただきながら地域に合った交通手段の確保を考えていきたい。

団体：旧明正小学校の跡地活用として校舎の一室を利用したい。

市長：小学校の跡地利用は地域の意向を踏まえて活用方法を決めていくもので、意見が出なければ民間活用してもらうためサウンディング調査を行う。現在、旧明正小学校は、夜久野みらいまちづくり協議会において地域としての活用方法を検討されていると聞いている。

団体：女性が自治会の集会なども含め表に出ようとしていないのも悪いが、協議会は男社会になっていて女性の意見は聞いてもらえない。

また、数年前に要望書を出したが、女性の団体では取り合ってもらえなかった。

市長：要望書の件は確認させていただきます。

団体：通学路の安全確保として市道にガードレールの設置が必要だと思う。また、獣の住処とならないように舟越会館や車瀬橋周辺の草刈りをしてほしい。

市長：道路管理者や警察、学校関係者などで構成する通学路安全推進会議において、通学路の安全点検や対策の検討を行っている。草刈りについては適正な維持管理に努めていく。

団体：公共施設がたくさんあるがどのような活用をされるのか。

市長：市民一人あたりの公共施設面積は全国平均の1.7倍と大きく、これは多くの公共施設を抱えているということである。地域や民間での活用のほか除却も含めた検討を行っているところである。

団体：広小路では歩道の段差がありシニアカーの走行が危険なのでバリアフリー化をお願いしたい。

市長：道路構造物は全国的な基準に基づいて整備しており、視覚障害のある人が歩道と車道の境界を認識する観点からも一定の段差は必要であるため御理解いただきたい。

団体：市民の中には「地域包括支援センター」がどこにあって何をしているのか知らない人がある。市民に浸透しない原因は名称にあると思う。

市長：地域包括支援センターは6ヶ所から9ヶ所に増やし、今年からコーディネーターとして地域の方にも入ってもらっているところである。昨年度開設した「子育て総合相談窓口」なら分かりやすいのではないだろうか。どのような名称にするのが適切なのか、整理できていないので今後検討させていただきたい。

団体：地域包括支援センターが増える一方で、庵我地区は桃映地域包括支援センターの担当圏域となり、市役所からもみじが丘へと遠くなってしまい利用しづらい。

市長：庵我地区の事情は分かりました。市役所のほうで話が聞ける体制が整えられるかという観点も含め担当課の方で検討させていただきたい。

また、今年から市役所内に介護あんしん総合センターを新設した。包括支援センター間の調整やレスパイト入院（短期間の入院による介護者の負担軽減）などの調整を行っている。

団体：人に聞かなくても対応できるような支所管内のことを熟知している職員を支所窓口配置してほしい。

市長：現在、支所長は地元出身者を配置している。職員の配置については支所内部で考えていかないといけない。

